



こんしん行脚展を道の駅長島で開催

世界平和の思いを込めて

5月27日から6月11日の16日間、道の駅長島の2階で、阿羅こんしん（本名・大友慶次さん、東京都）さんの個展「こんしん行脚展～あのね！母さん、、、～」が開かれました。

おとし、阿羅さんは長島に初めて訪れ、そのときに友人からもらったお土産のジャガイモと、道の駅から眺める景色に感動。同施設2階での個展を希望し、2年越しの実現となりました。

並べられた阿羅さんの作品は約40点。その作品のほとんどが「人間誰もが、母から生まれ、憎しみを知らない無垢な状態だった。その時の思いに戻り、テロや紛争のない平和な世界を築こう」という阿羅さんの平和への強い思いが込められた作品となっていました。



↑ 平和を願う1500人の思いが書き込まれた作品の前に立つ阿羅さん（2015年8月ニューヨークで制作）



平尾小学校3年生が総合的な学習

長島の魚について学ぶ

5月31日、平尾小学校（辻孝義校長・76人）の3年生13人は、総合的な学習「長島のブリは日本一」をテーマに町内の漁業関連施設を見学しました。

児童らは、東町漁業協同組合のブリの加工施設を見学したあと、長島町水産種苗センターを訪問。同施設で親魚として飼育しているヒラメに餌をやったり、アラカブの稚魚を観察したり、長島の魚について勉強していました。山下煌月さんは「魚の知らないことを今日知ることができてうれしかった」と満足げに話してくれました。



↑ 児童ら一人ひとり餌やり体験も



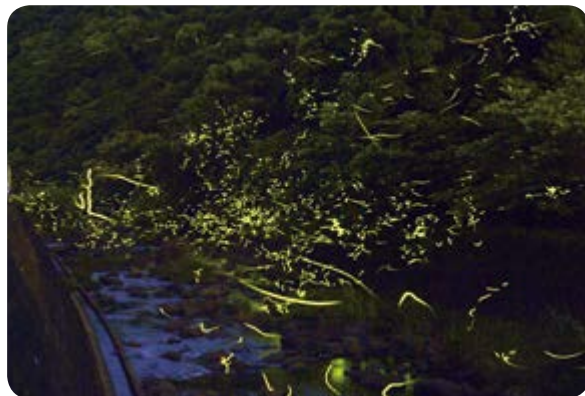
小浜川にホタル飛び交う

幻想的に光舞う

5月下旬、川内集落を流れる小浜川流域では、多くのホタルの群れが飛び交っていました。

午後8時を過ぎた頃から、ホタルは光を放ち出し、徐々に強くなるその光は、まるでイルミネーションのように辺りを照らしていました。

毎年、ホタルの乱舞を見ることが出来る絶好のポイントとして知られている同集落の小道には、この日も見物客が訪れており、ホタルが風に揺られて舞うたびに感嘆の声が聞こえていました。



↑ 多くのホタルが飛び交う小浜川